

令和4年11月吉日

各位

「食品表示ミス防止・食品トレーサビリティ推進に関するセミナー」の開催の御案内について

日頃より農林水産行政に対し、ご理解とご協力を頂き、ありがとうございます。
農林水産省では、中小規模の食品事業者様を対象とした表示ミス防止の取組やトレーサビリティの取組を推進する上でのポイントをまとめたテキストを作成しています。

これらのテキストの解説と活用方法を紹介するセミナーを開催いたしますので、貴会傘下の事業者等にご案内いただきますようお願いいたします。

なお、今回のセミナーには使用しませんが、「食品トレーサビリティに取り組みましょう！」につきまして参考までに送付いたします。

- セミナー名：「食品表示ミス防止・食品トレーサビリティ推進に関するセミナー」
- 会場：東京11/16日（水）、大阪11/25日（金）
 - ※ 東京及び大阪については、全国からのWEB参加いただけます。
 - ※ このほか、以下の会場で開催されますが、現地参加のみとなっていますので、ご注意ください。
札幌11/8（火）、仙台11/11（金）熊本11/21（月）

開催時間：（1）農産物・農産加工品編 9：30～11：30
 （2）畜産物・畜産加工品編 13：30～15：30
※午前・午後のいずれか一方のプログラムだけの参加でも結構です。

- 参加費：無料

参加申込方法など明細につきましては、別紙及び以下のホームページをご覧ください。（WEB配信への参加につきましても事前の参加申請登録が必要です。）

- URL：<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/hyoji/221024.html>（農水省ウェブサイト）

また、農林水産省ホームページに掲載されているリーフレット等をご希望の方は、以下の問い合わせ先までご連絡ください

お問い合わせ：
関東農政局消費・安全部消費生活課
担当：関口
電話：048-740-0357
FAX：048-601-0548

[プレスリリース](#)

「食品表示ミス防止・食品トレーサビリティ推進に関するセミナー」の開催について

[Tweet](#)[印刷](#)令和4年10月24日
農林水産省

農林水産省は、2022年11月に全国5会場において、「食品表示ミス防止・食品トレーサビリティ推進に関するセミナー」を開催いたします。

1.概要

農林水産省では、商品の品質に関する表示ミス防止の取組や、適切な食品表示を支える食品トレーサビリティに取り組まれる中小規模の食品事業者が自主的な取組を進める上でのポイントをまとめた事業者向けテキストを作成しています。

本セミナーでは、これらのテキストの内容の解説及び活用方法の紹介をいたします。表示ミス防止や、食品トレーサビリティに関する取組を進められている事業者様、また、既に取り組を始められた中で疑問点をお持ちの事業者様など、ご関心をお持ちの方の参加をお待ちしています。

解説内容：

「失敗しない！加工食品の原材料表示－原材料情報とトレーサビリティ－」（農産加工品編、畜産加工品編）
「事例に学ぶ！食品表示ミス防止のチェックポイント」（農産物・農産加工品編、畜産物・畜産加工品編）

参加費：無料（会場参加及びWeb配信への参加ともに事前の参加申込登録が必要です）

主催：農林水産省

事務局：MS&ADインターリスク総研株式会社

2.対象

食品製造事業者、食品流通・販売事業者、団体等

3.セミナープログラム

- 1.開会
- 2.テキスト内容の解説
- 3.質疑応答
- 4.閉会

4.開催日程及び場所

（1）農産物・農産加工品編

9時30分～11時30分（受付開始時間9時）

地域	開催日	会場	定員
札幌	2022年11月8日（火曜日）	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 札幌支店 11階会議室 札幌市北区北7条西5-5-3 札幌千代田ビル11階	25
仙台	2022年11月11日（金曜日）	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 仙台ビル 9階貸会議室 仙台市青葉区花京院1-1-10 あいおいニッセイ同和損保仙台ビル9階	25
東京	2022年11月16日（水曜日）	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 新宿ビル 地下1階ホール 東京都渋谷区代々木3-25-3 あいおいニッセイ同和損保新宿ビル地下1階	50
		Web配信	100
大阪	2022年11月25日（金曜日）	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 フェニックスタワー 16階大会議室 大阪府大阪市北区西天満4-15-10 あいおいニッセイ同和損保フェニックスタワー16階	50
		Web配信	100
熊本	2022年11月21日（月曜日）	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 熊本支店 2階会議室 熊本県熊本市中央区練兵町56-1 あいおいニッセイ同和損保熊本ビル2階	25

(2) 畜産物・畜産加工品編

13時30分～15時30分（受付開始時間13時）

地域	開催日	会場	定員
札幌	2022年11月8日（火曜日）	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 札幌支店 11階会議室 札幌市北区北7条西5-5-3 札幌千代田ビル11階	25
仙台	2022年11月11日（金曜日）	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 仙台ビル 9階貸会議室 仙台市青葉区花京院1-1-10 あいおいニッセイ同和損保仙台ビル9階	25
東京	2022年11月16日（水曜日）	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 新宿ビル 地下1階ホール 東京都渋谷区代々木3-25-3 あいおいニッセイ同和損保新宿ビル地下1階	50
		Web配信	100
大阪	2022年11月25日（金曜日）	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 フェニックスタワー 16階大会議室 大阪府大阪市北区西天満4-15-10 あいおいニッセイ同和損保フェニックスタワー16階	50
		Web配信	100
熊本	2022年11月21日（月曜日）	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 熊本支店 2階会議室 熊本県熊本市中央区練兵町56-1 あいおいニッセイ同和損保熊本ビル2階	25

※ 内容は各会場共通です。

(1) 農産物・農産加工品編は生鮮食品としての農産物を取り扱う食品事業者、農産物を主な原材料とする農産加工品製造事業者、(2) 畜産物・畜産加工品編は生鮮食品として畜産物を取り扱う食品事業者、肉製品、乳製品等を主な原材料とする畜産加工品製造事業者を主な対象としていますが、(1) (2) で共通する内容も多く、全ての食品関係事業者にご参加いただける内容となっています。

都合により内容を一部変更する場合がありますので、予めご了承ください。

5.参加申込方法

以下の事務局であるMS&ADインターリスク総研株式会社のウェブサイトから、各開催地の「申込登録」欄のボタンへお進みください。（事務局ウェブサイト上のセミナーお申込みページに画面が変わりますので、「個人情報の取扱規約」にご同意いただいた後、参加申込登録として各項目の入力をお願いします。）

URL : <https://www.irric.co.jp/event/221007/index.php> (外部リンク)

※ 報道関係者で取材を希望される場合は、上記リンク先の事務局までお知らせ願います。

6.留意事項

Web配信（東京（11月16日）、大阪（11月25日））はZoomを使用し全国から参加可能です。視聴方法は、参加申し込みをいただいた方に別途事務局よりご案内メールを送らせていただきます。本セミナーの録画・録音・撮影、および資料の二次利用、詳細内容のSNSへの投稿は固くお断りいたします。

お申込みは先着順とし、定員に達し次第受付を締め切らせていただきます。

お申込みは各開催地の開催日の2営業日前（土日祝日を除く2日前）に締め切らせていただきます。多くの事業者様にご参加いただきたく、お申込みは各事業者様につき原則2名までとさせていただきます。同一事業者様におけるお申込者が複数会場に多数いらっしゃる場合は、事務局から個別にご相談させていただく場合があります。

お問合せ先

消費・安全局消費者行政・食育課

担当者：倉田、茂木、高橋

代表：03-3502-8111（内線4550）

ダイヤルイン：03-3502-5716

公式SNS



[イベント情報](#)

[関連リンク集](#)

[農林水産省
トップページへ](#)

農林水産省

住所：〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1

電話：03-3502-8111（代表）[代表番号へのお電話について](#)

法人番号：5000012080001

[ご意見・お問い合わせ](#)

[アクセス・地図](#)

[サイトマップ](#) [プライバシーポリシー](#) [リンクについて・著作権](#) [免責事項](#)

Copyright : Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries

食品トレーサビリティに 取り組みましょう！

トレーサビリティとは、
食品の移動を
把握できることです。



生産者



製造・加工
業者

消費者



外食・中食
業者



卸売業者

みんながつながって
いると安心。



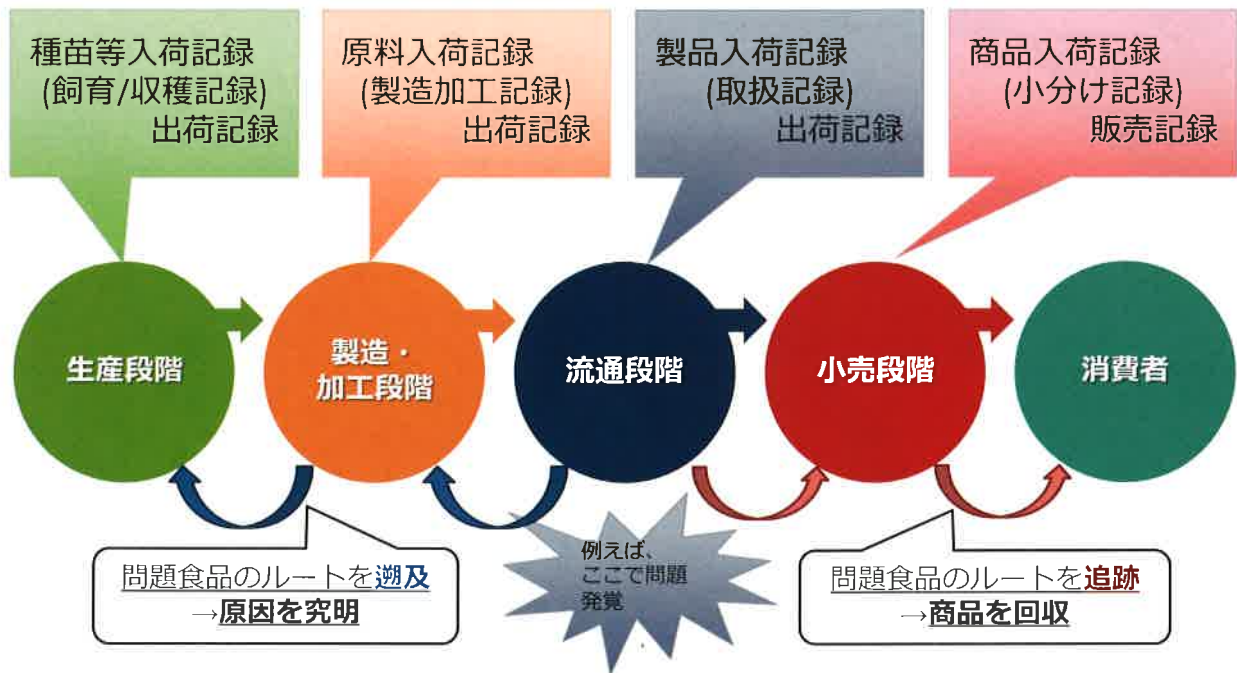
小売業者



食品トレーサビリティって何ですか？

食品トレーサビリティとは、 「食品の移動を把握できること」

各事業者が食品を取り扱ったときの記録を作成して残しておくことで、食品事故等の問題が生じた際に、問題のある食品がどこから来たかを調べたり（**遡及**）、どこに行ったかを調べたり（**追跡**）することができることから、**原因究明**や**商品回収**等を円滑に行うことが可能になります。



事例1：製造業者の場合

自社の製品で食中毒が発生。
問題のあった製品原料の入荷記録に不備があり、原料の供給経路が特定できず原因の究明が遅れたため、**社会的信用が失墜し、顧客を失った。**

問題のあった製品の原料の入荷日や入荷先を特定し、原料の供給経路を遡って調査することにより、**円滑な原因究明**が行えます。

早期に製造を再開することが可能になり、**顧客や消費者からの信頼を維持**することにつながります。

トレーサビリティに取り組んでいたら・・・

事例2：卸売業者の場合

メーカーから「〇月〇日に出荷した商品を回収してほしい！」と依頼があったが、出荷先が特定できなかったため、**大規模な回収に発展**した。

問題のある商品の範囲を絞った迅速な回収が可能になり、**消費者の健康被害の拡大を防ぐとともに、事業者の経済的損害を抑える**ことができます。

具体的に何をすればいいのですか？

食品の移動を把握するために、 記録を作成し、保存しましょう

基礎となる取組は、「入荷の記録」と「出荷の記録」の作成・保存です。

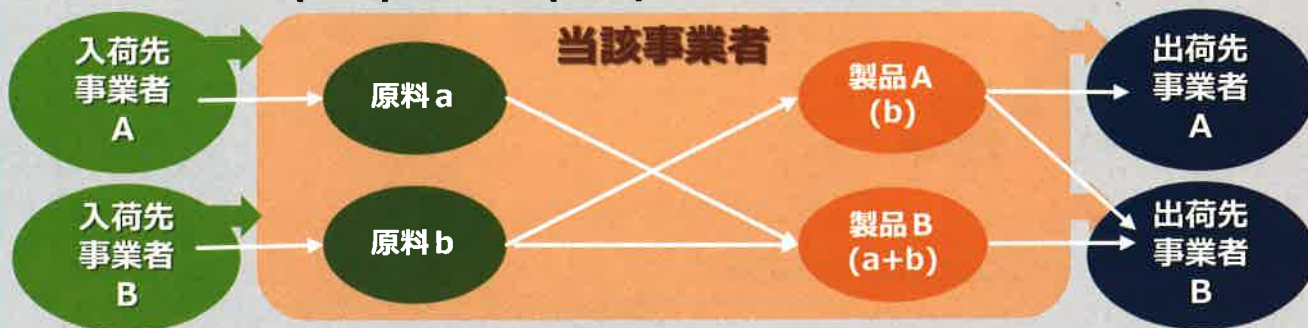


これにより、**入荷先や出荷先を確実に特定**することができます。

※基礎トレーサビリティといえます

より高度なトレーサビリティの取組は、

「**入荷品(原料)と出荷品(製品)を対応づける記録**」の作成・保存です。



これにより、**問題のある原料や製品を特定しやす**くなります。

※内部トレーサビリティといえます

記録の保存方法を決めましょう。

問題が生じた際に、直ちに取り出せるよう、整理をしておきましょう。

紙媒体



電子媒体



伝票の控え



レシートの控え



伝票や台帳をファイルに綴じてロッカーに保存したり、
入力されたデータを電子媒体で保存するなどの方法があります。
日付順や入荷先・出荷先ごとに保存しておくなどの工夫が必要でしょう。

農林水産省の取組

食品トレーサビリティ「実践的なマニュアル」

総論

各論

[実践編] 業種ごとの取組の進め方など

取組手法編

[理論編]
取組の意味や効果、
用語の解説など

製造・加工業

卸売業

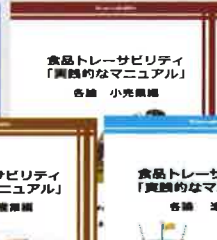
小売業

外食・中食業

記録様式集など
(各論を補完するもの)



総論



取組手法編



農業



畜産業



漁業

事故対応

あなたの会社は大丈夫？

トレーサビリティの対応モデルや
事故が発生した場合のケーススタディを解説



食品事業者用

ケーススタディ

事例も用いた商品回収における
ポイントを解説



プラスワンのモデル

HACCPに沿った衛生管理と
トレーサビリティの記録モデル



失敗しない！加工食品の原材料表示

中小規模の食品事業者を対象に
製造工程において注意すべきポイントを解説



動画QRコード

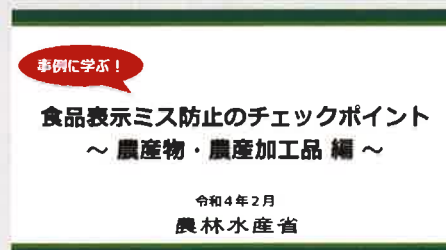


事例に学ぶ！

食品表示ミス防止のチェックポイント

～農産物・農産加工品編～

ヒューマンエラーによる表示ミスを
自らチェックする際のポイントを解説



動画QRコード



※上記の資料は農林水産省HP（食品トレーサビリティのサイト）に掲載されています。
<http://www.maff.go.jp/j/syouan/seisaku/trace/index.html>



●お問い合わせ先

地域	担当部署	電話番号	地域	担当部署	電話番号
農林水産省	消費・安全局 消費者行政・食育課	03-3502-5716	東海	東海農政局 消費生活課	052-223-4651
北海道	北海道農政事務所 消費生活課	011-330-8813	近畿	近畿農政局 消費生活課	075-414-9771
東北	東北農政局 消費生活課	022-221-6095	中四国	中国四国農政局 消費生活課	086-224-9428
関東	関東農政局 消費生活課	048-740-0357	九州	九州農政局 消費生活課	096-300-6121
北陸	北陸農政局 消費生活課	076-232-4227	沖縄	沖縄総合事務局 消費・安全課	098-866-1672